

“お茶”の魅力生かし観光振興

全国有数の茶の生産地として知られる京都府和束町。同町では、地元特産の“和束茶”の魅力をアピールして観光振興につなげようと、外国人観光客を対象にした茶摘み体験や、お茶を使った特産品づくり、

京都・和束町

山の斜面に茶畑が広がる美しい景観の保全に力を注いできた。その結果、同町への観光客数が増加し、海外からも頻りに旅行客が訪れるまでに。地域活性化を進める同町の取り組みを追った。



生かした観光振興への地道な努力がある。このうち、和束茶の海外発信に大きく貢献してきたのが、町内にあるベンチャー企業「京都おぶぶ茶苑」(喜多章浩代表)の取り組みだ。

京都府南部に位置する和束町。急傾斜の山肌には、茶畑

の畝が幾重にも広がり、茶畑の畝が幾重にも広がり、鎌倉時代からの地で茶栽培が始まったとされるが、和束産のお茶は香り高い高級茶葉として知られ、府内の茶の生産量の



茶摘み体験を行うインターン中のイギリス人女性(右側)らと外国人観光客

約4割を占めている。今年、同町が発表した観光

入込客数・観光消費額調査によると、2013年度の来訪客数は前年度比で約1.8倍、観光消費額は2.1倍に増えた。

人気が高まる背景には、官民が知恵を絞り、町の魅力を

同社は12年からインターンシップ(就業体験)制度を始め、

日本茶について学ぼうとする外国人学生らを受け入れてきた。その中で、インターン生らのアイデアを取り入れ、今年から始めた外国人観光客向けの茶摘み体験が注目を集めている。このイベントは週に

特産品づくりや景観保全進む

サンデー

レポート

2回行われており、アメリカやシンガポールなど世界各地から年間約300人が参加するという。「参加した観光客からは、ほうじ茶など初めて味わうお茶に感動したとの

声寄せられている」と、同社の関係者は語る。海外からの注目度が高まる中で、今年5月にはフランスの名物グルメ紀行番組のスタツフが同町を訪れ、地元産のお茶を使った料理などを取材。今後、約200カ国・地域で放送される予定で、世界からの反響が期待される。

一方、同町は、人口減少や茶農家の後継者不足などの課題を改善しようと、約6年前からお茶を活用した産業振興や雇用創出にも取り組んできた。その端緒となったのが、地元茶農家が生産した茶の直売所であり、町の観光情報を提供する

交流拠点となっている「和束茶カフェ」だ。公明党の竹内きみ代町議は、08年6月の開設当初から同カフェの運営を応援してきた一人。カフェで販売する茶

外国人旅行客の茶摘み体験が好評

菓子には、竹内町議らが立ち上げた女性ボランティア団体「恋茶グループ」が考案したのももあり、お茶を使った特産品づくりに貢献している。加えて町は、お茶を味わい、楽しむイベントとして、12年から「茶源郷まつり」を開催し、和束町の魅力をアピール。また、観光客向けHPの作成、フェイスブックなどのSNS(S・ソーシャル・ネットワ

「観光の“か”の字もなかったこの場所で、手探りで町おこしに汗を流してきた」と振り返るのは、和束茶カフェの運営や、茶源郷体験ツアーなどを実施している町雇用促進協議会の木村宣事務局長だ。「お茶のふるさと」を前面に押し出した観光振興への取り組みが功を奏し、和束町の知名度が上昇しつつある。

同町は今後、定住化促進に向けて、就農希望者の支援に乗り出す方針だ。「地方創生のモデルケースに」と情熱を燃やしている。



恋茶グループの一員として茶源郷まつりに参加する竹内町議(中央)

のは、京都府が宇治茶の世界文化遺産登録をめざす構想を示したことだ。この構想の中で、和束町を含む宇治市周辺の茶畑の風景が、遺産登録に必要な文化的景観として位置付けられた。「世界文化遺産にふさわしい景観に」と、町民らの環境保全への意識が高まっている。さらに、同町は昨年、貴重な地域資源を持つ自治体が集まって

06年に発足したNPO法人「日本で最も美しい村」連合に加盟し、さらなる景観保全に意欲を見せる。

大阪3区

大阪市 (大正区、住之江区、住吉区、西成区)

前厚生労働副大臣。党政務調査会長代理、同大阪府本代表。衆院当選7回。京都大学法学部卒。55歳。



神奈川6区

横浜市 (保土ヶ谷区、旭区)

党軽減税率制度調査委員。東京大学卒。米コネル大学大学院でMBA取得。衆院当選6回。元財務副大臣。56歳。



上田 いさむ 前

東京12区

東京都北区全域、足立区
＝詳細は2面

国土交通相。党全国議員団会議議長。京都大学大学院修士課程修了(耐震工学専攻)。衆院当選6回。69歳。



兵庫8区

兵庫県尼崎市

党学生局長。元国土交通省課長補佐。衆院当選1回。東京大学教養学部卒。米コロンビア大学大学院修了。36歳。



兵庫2区

神戸市 (兵庫区、北区、長田区)

前経済産業副大臣、元財務副大臣。党兵庫県本部代表。三井物産を経て、衆院当選6回。慶應義塾大学卒。56歳。



赤羽 かずよし 前

大阪16区

堺市 (堺区、東区、北区)

党副代表。元国土交通大臣・観光立国担当大臣。弁護士、税理士。衆院当選7回。創価大学法学部卒。61歳。



衆院選勝利へ訴え抜いた

四国ブロック 定数6

徳島、香川、愛媛、高知の各県

党四国方面本部長。元農林水産副大臣。衆院当選6回。創価大学大学院修了。63歳。



① 石田 祝稔 前

党四国方面本部分事務局長。同徳島県本部分事務局長。創価大学経済学部卒。57歳。



② 中野 英雄 新

九州・沖縄ブロック 定数21

福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各県

党中央幹事。元環境副大臣。衆院当選5回。熊本大学大学院修了。工学博士。58歳。



① 江田 康幸 前

党国際局長。選2回。英国フォード大学了。平和学博



② 遠山 津

近畿ブロック 定数29

大阪、兵庫、京都、奈良、和歌山、滋賀の各府県

元財務大臣政務官。党国会対策筆頭副委員長。衆院当選3回。京都大学卒。56歳。



① 竹内 譲 前

前環境・内閣府大臣政務官。党文化局長。衆院当選1回。参院1期。東京立正高校卒。51歳。



② 浮島 智子 前

党青年局長。清水建設株式会社の課長を経て、衆院当選1回。創価大学卒。43歳。



③ 樋口 尚也 前

党青年委員会副委員長。野村総合研究所を経て、衆院当選1回。関西学院大学卒。39



④ 濱村 進

東海ブロック 定数21

岐阜、静岡、愛知、三重の各県

党国会対策委員長。同静岡県本代表。衆院当選6回。弁護士。創価大学卒。59歳。



① 大口 善徳 前

党労働局長。同愛知県本代表。衆院当選2回。大阪大学大学院修士課程修了。45歳。



② 伊藤 渉 前

党三重県本代表。市議1期、県議2期。創価大学卒。46歳。



③ 中川 康洋 新

党愛知県本部分青年次長。サザニユンプシヤー大学卒。歳。



④ 五十嵐 雅之

南

鹿児島、沖縄の各県

党本部代表。衆院当選6回。弁護士。一橋大学卒。61歳。

元総務大臣政務官。衆院当選4回。早稲田大学卒。58歳。

局長。千葉船舶橋局次長。4期。創価大学法学部卒。53歳。

政大経済学部卒。歳。